



CHECK POINT SECURITY MANAGEMENT

単一のプラットフォームで単一のポリシーを適用し、
セキュリティの将来の管理を実現

CHECK POINT SECURITY MANAGEMENT

セキュリティの将来を今すぐ管理

メリット

- 動的なネットワーク変更に対応
- 運用の負荷を低減
- セキュリティと業務目的との調整を改善
- 次の攻撃を予想して防止

機能

- 単一コンソールによりセキュリティのあらゆる面に対応
- 統合型ポリシーによりインフラストラクチャ全体を管理
- 他に類を見ないきめ細やかなポリシー
- APIにより、自動化を実現
- 脅威の統合管理
- スケーラブルで拡張可能なアーキテクチャ

現状を把握する

今日、セキュリティ管理は複雑になる場合があります。業務環境の利便性を向上させるためにネットワークや業務の要件は複雑化になり、サービスやアプリケーションを開発するには、セキュリティ対策や管理などの新たな方法が求められます。従来のセキュリティ管理方法は複数製品を組み合わせることで複雑化し、単一的な管理が求められ手動による変更手順や、拡張性のないポリシー運用およびデータのサイロ化といった従来のセキュリティ管理方法は、もはや機能しなくなっています。セキュリティ対策には、敏速かつ効率的に、最新の脅威を予測することが求められます。

ソリューション

Check Point R80 Security Management (以下、R80) は、セキュリティ管理の信頼性と利便性を向上させます。将来性を考えた設計により、セキュリティのニーズが予想される環境に対して、組織全体に渡り最も強力な保護を効果的かつ効率的に導入できるように、セキュリティ環境のあらゆる面を円滑に統合します。さらに業務効率の向上や革新適なソリューションを提供します。

スケーラブルで拡張可能なアーキテクチャの構築



次世代ポリシー



効率的な操作



統合型脅威管理

統合型コンソール、統合型ポリシー

R80では、いかなる環境下においてもアクセス制御および脅威対策機能が、同一コンソールで完全に統合されたため、複数のインタフェース間を移動する必要がなく、物理ネットワークと仮想ネットワークの両方、およびオンプレミスやクラウドの実施ポイントに対応する統合管理により、セキュリティの一貫性が確保され、ネットワーク上のトラフィックがすべて見えるようになります。



図1：インフラストラクチャ全体に対する単一ポリシー

ユーザ、データ、アプリケーションおよびネットワークに対する単一ポリシーを提供。他に類を見ないきめ細やかなレベルでのチェックや速度管理が可能になり、ポリシー変更の負荷が軽減されます。

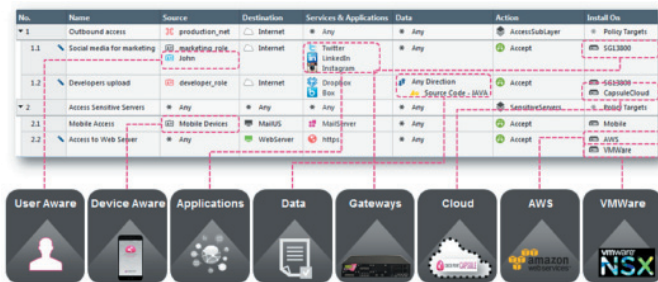


図2：他に類を見ないきめ細やかな統合ポリシー

次世代ポリシー

今日の仮想クラウド環境では、アプリケーション、サービスおよびサーバが自動でプロビジョニングされる極めて高い俊敏性が得られますが、パラメータを利用するのみではセキュリティレベルの維持は困難です。チェック・ポイントの次世代ポリシーにより、管理可能なセクションへのポリシーの分割が非常に容易になるため、こうしたサブ・ポリシーを活用いただく事で、ご利用環境のネットワークや業務機能に合わせてセキュリティレベルを最適化できます。各サブ・ポリシーは、単独で任意、または自動化による導入が可能です。戦略的なセキュリティタスクに関連する主要セキュリティ人員の負担を軽減して、業務効率化を図ります。

効率的な操作

過度の作業量に対して人員が少なすぎる場合でも、セキュリティ・チームは迅速に作業を行う必要があります。自動化は、操作・運用上の負荷軽減に役立つ極めて重要な要因になります。セキュリティ・チームは、APIを使用することで、セキュリティがセルフ・サービスになるように任意のタスクの自動化やWebポータルでの作成が可能です。

その他の効率要因として、管理者の毎日のニーズを予想するために管理インタフェースに組み込まれた機能があります。これらの機能により、管理者にセキュリティ・インテリジェンスが提供され、管理者が同時に操作を行う場合でも、複数の管理者が競合せずに同一ポリシーに対して同時に作業を行うことが可能になり、ポリシー管理の利便性が向上しました。

完全統合型の脅威管理

R80では、脅威管理が完全に統合され、ログ、監視、イベントの対応付け、レポート作成が1箇所で行われます。ダッシュボードでは、ネットワーク上のセキュリティがすべて見えるため、実施ポイントのステータスを監視したり、潜在的な脅威に対して常に注意したりすることができます。



図3：環境の視覚的な全体ビュー

この完全にカスタマイズ可能なダッシュボードを使用すると、運用管理は、関連する事項のみに焦点を当てることができます。セキュリティ状況の全体の状態が表示され、数回のクリックで、インシデントまたはログの詳細に迅速にアクセスできます。レポートは、Webブラウザからでもアクセスできます。

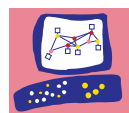
スケーラビリティと拡張性

R80プラットフォームは、ダイナミックな環境にスケーリングするように設計されています。APIを使用することで、ネットワーク上のITプロセスやシステムへのセキュリティとの接続が簡単になり、設定変更、制御やプロビジョニングの自動化が容易になり、高いレベルでのセキュリティ基盤をより一層強固なものにしてゆきます。

SECURITY MANAGEMENT サイト

Check Point Smart Management サイトは、以下のモジュールで構成されています。

ポリシー管理	
Policy Management	チェック・ポイント・ゲートウェイおよび Software Blade の統合ネットワーク・ポリシー管理。
Multi-Domain Management	複数のドメイン間で多数の異なるセキュリティ・ポリシーを一元管理するため、管理者はハードウェアの統合が可能です。
Management Portal	ポリシー、ゲートウェイ・ステータスおよびユーザ管理を表示する、グループ（技術サポート・チームや監査員など）用のブラウザ・ベースのセキュリティ管理アクセス。
操作管理	
Compliance	300 以上のセキュリティのベスト・プラクティスと業界標準のライブラリに照らし合わせ、ポリシーと設定の変更をリアルタイムで検証します。
Provisioning	チェック・ポイント製品のプロビジョニングを一元化します。プロファイルを使用して、セキュリティ管理者は、デバイス設定を自動化して、地理的に分散した複数のデバイスに中央コンソール経由で変更を簡単にロールアウトできます。また、新しいデバイスをすばやく導入できます。
Workflow	ポリシー変更管理を自動化して、ポリシー変更の編集、レビュー、承認および監査を一元管理します。
User Directory	ユーザ管理を一元化します。これにより、ゲートウェイでは、LDAP ベースの情報ストアを使用できるため、手動で維持したり冗長化しているデータ・ストアの同期に関連するリスクが解消されます。
脅威管理	
SmartEvent and Reporter	チェック・ポイント製品の稼働している環境に関するセキュリティ・イベントの関連付けを一元化します。データの分析と、実際のセキュリティ脅威の隔離、優先順位付けの所要時間が最小限に抑えられます。ネットワーク、セキュリティおよびユーザ・アクティビティに関するレポート作成を一元化して、簡潔な事前定義済みレポートまたはカスタム・レポートにデータを集約します。
Monitoring	チェック・ポイント製品を 1 箇所ですべて監視します。ゲートウェイ、エンド・ポイント、リモート・ユーザおよびセキュリティ・アクティビティの変化をセキュリティ・チームに通知します。ネットワークとセキュリティのパフォーマンスの全体像が表示されるため、トラフィック・パターンやセキュリティ・イベントの変化にすぐに対応できます。
R80 アップグレード・パス	バージョン
サポート対象の Security Management サーバ	R75.47、R76、R77、R77.10、R77.20、R77.3.0



Check Point[®]
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD

WE SECURE THE FUTURE

製品に関するお問い合わせ

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-5-3 建成新宿ビル6F Tel:03 (5367) 2500 E-mail:info_jp@checkpoint.com <http://www.checkpoint.co.jp>

©2016 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved.

※記載された製品仕様は予告無く変更される場合があります。最新の仕様については、弊社または販売会社まで、直接お問い合わせ下さい。

P/N EDB44A0 2016.5